

# 仕様 (スペック) ガイド 日本国内の石油製品

最終更新日: 2021 年 4 月

<b>プラッツがデイリーのアセスメントを公表する取引ロケーションの定義</b>	<b>2</b>
日本国内石油製品価格アセスメント	2
ガソリン	4
軽油	5
灯油	6
LSA重油 0.1%	7
A重油 0.5%	8
<b>改訂履歴</b>	<b>10</b>

## プラッツがデイリーのアセスメントを公表する取引ロケーションの定義

次のスペックガイドはプラッツの日本石油製品のアセスメントに関する基本スペックとメソドロジーガイドを含んでいます。次のウェブリンク[https://www.spglobal.com/platts/plattscontent/\\_assets/\\_files/en/our-methodology/methodology-specifications/platts-assessments-methodology-guide.pdf](https://www.spglobal.com/platts/plattscontent/_assets/_files/en/our-methodology/methodology-specifications/platts-assessments-methodology-guide.pdf)でリストアップされたすべてのアセスメントは、プラッツのアセスメントメソドロジーに準じています。このガイドの各部分はメソドロジーとスペックの様々な分野についてできるだけ多くの情報をプラッツの購読者に対して提供できるように構築されています。

このメソドロジーガイドは公表時現在のものです。プラッツではこのメソドロジーガイドをさらにアップデートして改善する可能性があり、その場合は、通常の公表の方法で購読者にお知らせします。アップデートの内容は、次のバージョンのメソドロジーガイドに含まれます。アセスメントについて質問がある場合は、プラッツの編集スタッフとマネージャーがいつでも説明します。

## 日本国内石油製品価格アセスメント

### 陸上輸送

プラッツは日本国内陸上輸送石油製品の主な取引ハブにおける価格(円/キロリットル)を評価し、公表しています。プラッツが現在陸上市場において評価しているのは、日本国内陸上輸送のガソリン、灯油、軽油、A重油、低硫黄A重油で東京湾の2カ所、すなわち千葉と神奈川、そして中京と阪神です。アセスメントの対象で受け渡しされる製品は課税前価格となっています。前述した4カ所の出荷地に加えて、プラッツが日本国内陸上輸送のガソリン、灯油、軽油、A重油、低硫黄A重油において、千葉と神奈川の平均値である東京湾のアセスメントも発表しています。

**タイミング:** プラッツの日本国内陸上輸送アセスメントには、アセスメントの公表日から1-7日後にタンクローリーに積まれる出荷価格を評価します。

この市場について評価される価格には、1日を通してプラッツに報告されたアクティビティが反映され、報告されたすべての取引の値は常に標準化されて、日本の午後2時00分の市場実勢値が反映されます。価格は円/klで評価されます。これはその日の取引の平均を示すものではありません。

プラッツは評価する際、関連マーケットを観測して考慮する場合があります。例えば、原油の価格変動、先物取引所の価格動向や他のボードの国内石油製品現物価格、石油製品間のスプレッド、地域間のスプレッドなども考慮する場合があります。

日本国内陸上輸送のガソリン、灯油、軽油、A重油、低硫黄A重油価格のMOC(マーケットオンクローズ)アセスメントプロセスに対するプラッツの編集基準は、ターミナルやタンクローリーの指名など、運用パフォーマンスのすべての面でベストプラクティスを要求していません。

### タイミングと出荷地の詳細:

プラッツはアセスメントの公表日から1-7日後にタンクローリーに積まれる千葉と神奈川にある特定の製油所もしくは油槽所の出荷価格を評価します。アセスメントの対象となる積み込み地は以下のとおりです。

**千葉:** 製油所: コスモ石油・千葉製油所、ENEOS・千葉製油所、出光興産・千葉製油所、富士石油・袖ヶ浦製油所。

**油槽所:** 丸紅エネックス・千葉タンクターミナル。

**神奈川:** 製油所: ENEOS・川崎製油所、東亜石油・京浜製油所、ENEOS・根岸製油所。

**油槽所:** 大東タンクターミナル・横浜油槽所、セントラル・タンクターミナル・横浜事業所。

**阪神:** 製油所: ENEOS・堺製油所、コスモ石油・堺製油所。

**油槽所:** 丸紅エネックス・堺タンクターミナル、中川物産・大阪櫻島油槽所。

**中京:** 製油所: 昭和四日市製油所、出光興産・愛知製油所、コスモ石

油・四日市製油所。

**油槽所:** 兼松油槽・名古屋油槽所(9号地)、丸中興産・名古屋油槽所(9号地)、丸紅エネックス・名古屋ターミナル、豊通エネルギー(9号地)、ENEOS・名古屋第2油槽所(9号地)、キグナス石油・名古屋油槽所(9号地)。

MOCプロセスへの参加者はオープンオリジン(出荷地の制限なし)もしくは製油所出し限定のビッド、オファーで、取引意思を表明することができます。オープンオリジンで成約した場合、売り手が受け渡し場所について製油所か油槽所か選ぶ権利があります。製油所出しのビッドもしくはオファーについては、それぞれの受け渡し地点で製油所から出荷される製品のみが対象になります。

**カーゴサイズ:** プラッツの石油製品陸上輸送市場アセスメントでは最低50キロリットル、最大200キロリットルのカーゴサイズのビッド、オファーおよび成約がアセスメントの対象となります。

**ノミネーション:** プラッツの日本国内陸上アセスメントが反映するビッド、オファー、そして成約は、買い手が成約の際に合意した数量に対して製品輸送の責任を持つものです。そして、買い手に供給される製品の数量はノミネートされたローディング地点で業界慣習に基づいて量ります。買い手が希望積み込み日を常識範囲内の時間内に売り手に連絡し、タンクローリーについての必要な詳細も業界慣習に基づいて提供します。売り手が素早くタンクローリーの受け入れについて買い手に連絡し、ローディング地点についても指定します。

MOCに参加予定の買い手が陸上アセスメントで対象となっている受け渡し地点で、タンクローリーの登録を早めに済ませることが大切です。

す。MOCに参加予定の売り手は陸上アセスメントで対象となっている受け渡し地点で日本の安全基準に沿ったタンクローリーの登録をスムーズに受け入れることも大切です。タンクローリーの登録が先方側から断れたり、うまく進まなかったりする場合がございます。できるだけ早くプラッツにお知らせください。

アセスメントカレンダー: 日本国内陸上輸送石油製品に対するプラッツのアセスメントは、プラッツ東京オフィスの公表スケジュールに従います。これには日本の祝祭日とグローバル市場の休業日が反映されています。

季節変動: プラッツでは、ガソリン、軽油、そして灯油の場合、4月1日から10月1日までは夏期仕様の規格、それ以降は4月1日まで冬期仕様の規格を反映します。これらの日付は、各市場が季節の切り替えを採用する実際の日付によって変わることがあります。

仕様(スペック): プラッツはすべての参加者に対して、日本国内石油製品陸上MOCアセスメントプロセスで売買される製品が、確実に取引可能な商品性のあるものであり、JIS規格(日本工業規格)に準拠し

ている製品であると証明することを求めています。

業界の慣例にしたがって、売り手、買い手は、取引相手とは合意の上で、独立した検査機関を指名し、製品のスペックがJIS規格(日本工業規格)に見合ったものであるかを証明することができます。

プラッツのメソドロジーガイドは取り扱う製品のスペックに関して、すべての品質要素を含んでいるわけではありません。そして、アセスメントプロセスで反映された製品は、常に業界の標準に合致しているものであり、それぞれの市場で常に取引できるものでなければなりません。

プラッツMOCプロセスで実施された取引について、受け渡しが完了したか、また製品の品質が基準に従っているか調査されることがあります。MOC取引は、編集スタッフによる調査を前提としていて、それは一般的な市場の慣習と取引の実施にしたがっているかどうかを確実にするためです。

**ガソリン**

アセスメント	コード	月間平均	契約条件	位置情報	受渡期間	最小サイズ	最大サイズ	通貨	単位	変換
<b>陸上</b>										
ガソリン 89 RON	PJPBX00	PJPBX03	陸上輸送	神奈川	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
ガソリン 89 RON	PJPBY00	PJPBY03	陸上輸送	千葉	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
ガソリン 89 RON	PJPAR00	PJPAR03	陸上輸送	東京湾	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
ガソリン 89 RON	PJPCT00	PJPCT03	陸上輸送	中京	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
ガソリン 89 RON	PJPCU00	PJPCU03	陸上輸送	阪神	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円

**ガソリン**

日本国内のガソリン価格アセスメント: プラッツは通常、固定価格のビッド、オファー、取引をアセスメントに反映させますが、異なるカーゴサイズや場所、関連市場だけでなく、ガソリンと実証可能な価格関連がある他の石油製品のスプレッド関係に対する市場価格も必要に応じて使用することがあります。

仕様: プラッツのガソリンの国内陸上輸送価格日本国内アセスメントには、特定の規定がない限り、日本工業規格の最新の規格である JIS K 2202 規格が反映されています。

プラッツの日本国内ガソリンのアセスメントはすべての地域において89 RON(オクタン価 89) で比重が最大 0.783 g/cm<sup>3</sup> ベースの製品を示しています。硫黄分質量分率は 0.001 %以下です。挙げている仕様は、該当するすべての仕様項目を網羅したものではありません。

んが、プラッツのアセスメントプロセスに反映される貨物は、製品の商品性などが常に業界標準に適合していると見なされます。幅広く売買される商品として適さない等級のもの、例えば、多量の特定添加物やブレンド基材など、一般的ではない添加物が含まれるガソリンは、アセスメントに反映されません。

**軽油**

アセスメント	コード	月間平均	契約条件	位置情報	受渡期間	最小サイズ	最大サイズ	通貨	単位	変換
<b>陸上</b>										
軽油 10ppm	PJPBZ00	PJPBZ03	陸上輸送	神奈川	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
軽油 10ppm	PJPCA00	PJPCA03	陸上輸送	千葉	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
軽油 10ppm	PJPAS00	PJPAS03	陸上輸送	東京湾	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
軽油 10ppm	PJPCX00	PJPCX03	陸上輸送	中京	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
軽油 10ppm	PJPCY00	PJPCY03	陸上輸送	阪神	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円

**軽油**

日本国内の軽油 10ppm 価格アセスメント: プラッツのアセスメントには、通常、固定価格のビッド、オファー、取引が反映されますが、必要に応じてその他の指標も使われることがあります。例えば、軽油価格との関係が実証されている他の石油製品とのスプレッド関係に対

する市場価値のほか、さまざまな積荷サイズや場所、関連市場も反映されます。

仕様: プラッツでの日本国内の軽油価格アセスメントには、特定の規定がない限り、日本の最新工業規格である JIS K 2204 が反映されます。プラッツの陸上のアセスメントはすべての地域において、日本の

自動車燃料規格に準じた硫黄分が10ppm以下の製品を示していません。掲げられている仕様は、該当するすべての仕様項目を網羅したものではありませんが、プラッツのアセスメントプロセスに反映される製品は、製品の商品性などが常に業界標準に適合していると見なされます。

**灯油**

アセスメント	コード	月間平均	契約条件	位置情報	受渡期間	最小サイズ	最大サイズ	通貨	単位	変換
<b>陸上</b>										
灯油	PJPCB00	PJPCB03	陸上輸送	神奈川	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
灯油	PJPCC00	PJPCC03	陸上輸送	千葉	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
灯油	PJPAT00	PJPAT03	陸上輸送	東京湾	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
灯油	PJPCV00	PJPCV03	陸上輸送	中京	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
灯油	PJPCW00	PJPCW03	陸上輸送	阪神	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円

**灯油**

日本国内の灯油価格アセスメント: プラッツのアセスメントには、通常、固定価格のビッド、オファー、取引が反映されますが、必要に応じてその他の指標も使われることがあります。例えば、灯油価格との関係が実証されている他の石油製品とのスプレッド関係に対する市場価値のほか、日本国内の輸送を対象とした C+F ベースのプラッツジ

ェット燃料アセスメントなど、さまざまな貨物サイズや場所、関連市場も反映されます。

仕様: プラッツでの日本国内の灯油価格アセスメントには、特定の規定がない限り、日本の最新工業規格である JIS K 2203 が反映されます。プラッツ日本国内の灯油のアセスメントはすべての地域において、夏期における煙点が 23 ミリメートル以上、冬期における煙点が

21ミリメートル以上、95%の蒸留性状の留出温度が 270 °C以下の灯油を示しています。硫黄分質量分率は 0.008% 以下です。掲げられている仕様は、該当するすべての仕様項目を網羅したものではありませんが、プラッツのアセスメントプロセスに反映される製品は、製品の商品性などが常に業界標準に適合していると見なされます。

**LSA 重油 0.1%**

アセスメント	コード	月間平均	契約条件	位置情報	受渡期間	最小サイズ	最大サイズ	通貨	単位	変換
<b>陸上</b>										
LSA 重油 0.1%	PJPCF00	PJPCF03	陸上輸送	神奈川	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
LSA 重油 0.1%	PJPCG00	PJPCG03	陸上輸送	千葉	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
LSA 重油 0.1%	PJPAU00	PJPAU03	陸上輸送	東京湾	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
LSA 重油 0.1%	PJPCZ00	PJPCZ03	陸上輸送	中京	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
LSA 重油 0.1%	PJPDA00	PJPDA03	陸上輸送	阪神	公表日から 1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円

**LSA 重油 0.1%**

日本国内の LSA 重油 0.1% 価格アセスメント: プラッツのアセスメントには、通常、固定価格のビッド、オファー、取引が反映されますが、必要に応じてその他の指標も使われることがあります。例えば、A重

油価格との関係が実証されている他の石油製品とのスプレッド関係に対する市場価値など、さまざまな貨物サイズや場所、関連市場も反映されます。

仕様: プラッツの日本国内の LSA 重油 0.1% 価格アセスメントには、

すべての地域において、日本の最新工業規格である JIS K 2205 (1号1種) と硫黄分質量分率規制 (0.1% 以下) が反映されます。挙げている仕様は、該当するすべての仕様項目を網羅したものではありませんが、プラッツのアセスメントプロセスに反映される貨物は、製品の商品性などが常に業界標準に適合していると見なされます。

**A重油 0.5%**

## アセスメント

## 陸上

コード	月間平均	契約条件	位置情報	受渡期間	最小サイズ	最大サイズ	通貨	単位	変換	
A重油 0.5%	PJPCD00	PJPCD03	陸上輸送	神奈川	公表日から1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
A重油 0.5%	PJPCE00	PJPCE03	陸上輸送	千葉	公表日から1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
A重油 0.5%	PJPAV00	PJPAV03	陸上輸送	東京湾	公表日から1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
A重油 0.5%	PJPDB00	PJPDB03	陸上輸送	中京	公表日から1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円
A重油 0.5%	PJPDC00	PJPDC03	陸上輸送	阪神	公表日から1-7日後	50	200	JPY	キロリットル	円

**A重油 0.5%**

日本国内の A重油 0.5% 価格アセスメント: プラッツのアセスメントには、通常、固定価格のビッド、オファー、取引が反映されますが、必要に応じてその他の指標も使われることがあります。例えば、A重油価格との関係が実証されている他の石油製品とのスプレッド関係に対する市場価値など、さまざまな貨物サイズや場所、関連市場も反映

されます。

仕様: プラッツの日本国内の A重油 0.5% 価格アセスメントには、すべての地域において、日本の工業規格である JIS K 2205 (1号1種) と硫黄分質量分率規制 (0.5% 以下) が反映されます。挙げている仕様は、該当するすべての仕様項目を網羅したものではありませんが、プラッツのアセスメントプロセスに反映される貨物は、製品の商品性な

どが常に業界標準に適合していると見なされます。

過去データの HSA 重油 1.0% と 2019 年 10 月 1 日以降の A 重油 0.5% を見分けるために、プラッツは硫黄分を表す新しいコードを導入しました。



**硫黄分コード**

アセスメント

コード

月間平均

契約条件

位置情報

通貨

単位

**陸上**

日本国内陸上重油硫黄分

JPRXT00

統計数字

日本

N/A

パーセンテージ

## 改訂履歴

2021年4月: プラッツは海上の全ての石油製品アセスメントが2021年4月1日から中止になったことをメソドロロジーガイドに反映させました。

2021年2月: プラッツは2021年2月にメソドロロジーガイドの年間レビューを完了しました。メソドロロジーガイドのテキスト内容に若干の修正を加えました。

2020年10月: プラッツは海上の石油製品アセスメントのほとんどが2020年10月1日から中止になったことをメソドロロジーガイドに反映させました。そして、プラッツは陸上の石油製品アセスメント対象出荷地(受渡場所名)として、JXTG千葉製油所がENEOS千葉製油所に変更、JXTG川崎製油所がENEOS川崎製油所に変更、JXTG根岸製油所がENEOS根岸製油所に変更、JXTG堺製油所がENEOS堺製油所に変更、昭和シェル石油四日市製油所が昭和四日市製油所に変更、JXTGエネルギー名古屋第2油槽所(9号地)がENEOS名古屋第2油槽所(9号地)に変更されたことをメソドロロジーガイドに反映させました。

2020年2月: プラッツが2020年2月にメソドロロジーガイドの年間レビューを完了しました。メソドロロジーガイドのテキスト内容に若干の修正を加えました。

2019年10月: プラッツが2019年10月1日からプラッツ日本石油製品においてA重油(陸上・海上)の最大硫黄分を「0.5%以下」へ変更し、メソドロロジーガイドに反映させました。プラッツは2019年4月にプラッツのメソドロロジーとスペックガイドのパート1~6で年間アップデート

トを実施し、それらを個別のメソドロロジーガイドに移動しました。

2019年2月: プラッツが2019年2月にメソドロロジーガイドの年間レビューを完了しました。メソドロロジーガイドのテキスト内容に若干の修正を加えました。陸上アセスメントにおいて、プラッツが神奈川と千葉の平均値である「東京湾」を表のなかにも明確に表現しました。

2018年5月: プラッツは海上と陸上の石油製品アセスメント対象出荷地(受渡場所名)として、橋本産業株式会社の横浜営業所(横浜油槽所)がセントラル・タンクターミナル株式会社の横浜事業所に変更されたことをメソドロロジーガイドに反映させました。

2018年3月: プラッツが2018年3月にメソドロロジーガイドの年間レビューを完了しました。メソドロロジーガイドの内容をいくつか修正し、陸上アセスメントにおいて、プラッツが神奈川と千葉の平均値を「東京」として公表していることを明確しました。

2017年11月: プラッツは陸上石油製品のアセスメント対象地区として、中京と阪神を新たに加えたことをメソドロロジーガイドに反映させました。

2017年6月: プラッツが2017年6月にメソドロロジーガイドの年間レビューを完了しました。メソドロロジーガイドの内容をいくつか修正し、製油所の名前も変更しました。

2017年5月: プラッツは海上石油製品のアセスメント対象地区として、大西を新たに加えたことをメソドロロジーガイドに反映させました。

2017年2月: プラッツが海上の石油製品アセスメントで利用される出荷地を明記しました。

2016年12月: プラッツが2016年12月12日に開始した日本国内石油製品陸上価格のアセスメントの詳細を加えました。

2016年12月: 海上の石油製品アセスメントでは課税前価格が評価対象となっていることを明確にしました。

2016年11月: プラッツは日本国内石油製品メソドロロジーおよび仕様に関するガイドを更新しました。更新は変更されたメソドロロジーを反映し、ガソリンと灯油の仕様に関する誤りを修正しました。プラッツは2016年8月1日から日本国内石油製品海上アセスメントを半月ベース、2つのレイキャンでアセスメントするように変更しました。変更はFOB東京湾、中京、阪神のガソリン、灯油、軽油、低硫黄A重油、高硫黄A重油に適用されました。プラッツは2016年8月1日以前はアセスメント発表日から7-20日後に受け渡しが起こるものを対象にしていました。さらにガソリンと灯油の仕様(スペック)がJIS(日本工業規格)に合うように、ガソリンの最大硫黄含有量を0.001%に、灯油の最大硫黄含有量を0.008%に変更しました。メソドロロジーガイドの前バージョンではガソリンの最大硫黄含有量を0.01%、灯油の最大硫黄含有量を0.015%と誤って記載していました。

2016年5月: すべての製品の最小貨物サイズを500klに変更しました。

2016年4月: プラッツが日本国内の石油製品ガイドを作成しました。